



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月1日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ
 コード番号 5955 URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 堀 直樹
 (氏名) 木村 隆宣
 TEL 075-591-2131

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,675	5.3	288	0.0	315	3.7	174	40.9
2020年3月期第3四半期	7,048	0.3	288	20.9	304	21.2	294	2.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 165百万円 (50.1%) 2020年3月期第3四半期 331百万円 (6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.26	
2020年3月期第3四半期	2.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,793	10,984	67.1
2020年3月期	15,657	10,957	67.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 10,593百万円 2020年3月期 10,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		1.00	1.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,050	5.0	380	1.4	400	0.7	225	34.8	1.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	143,611,765 株	2020年3月期	143,611,765 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,811,435 株	2020年3月期	5,811,423 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	137,800,341 株	2020年3月期3Q	138,220,412 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が急速に悪化したものの、段階的な経済活動の再開や政策等の効果により持ち直しの動きも見られましたが、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えておらず、景気の回復は依然として不透明な状況となっております。

当社グループの主要取引先である自動車業界においても、急激な需要の落ち込みによる影響を受けた後、着実な回復傾向にありましたが、現在の感染状況からは予断を許さない状況となっております。

このような状況のもと当社グループにおいては、状況に応じて必要な感染対策を講じながら、経費削減等により業績の向上に努めております。

その結果、当第3四半期の経営成績は、売上高6,675百万円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益288百万円（前年同四半期比0.0%増）、経常利益315百万円（前年同四半期比3.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、174百万円（前年同四半期比40.9%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(金属製品事業)

金属製品事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の縮小により、主要取引先である自動車関連業界において急激な需要の落ち込みにより減産を余儀なくされたことを受け、受注が減少方向で推移しております。

その結果、売上高は4,575百万円（前年同四半期比14.6%減）、営業利益は222百万円（前年同四半期比33.3%減）となりました。

(電線・ケーブル事業)

電線・ケーブル事業におきましては、近年受注の低迷により厳しい状況が続いております。その状況のもと、経費削減及び受注確保に努めております。

その結果、売上高は863百万円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は36百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

(不動産事業)

保有不動産について、安定した稼働率の確保に努めておりますが、新型コロナウイルス感染拡大を受け一部テナントにおいて家賃減額を実施したことから、売上高は185百万円（前年同四半期比7.2%減）、営業利益は93百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

(化成品事業)

化成品事業におきましては、受注が堅調に推移し、売上高は1,014百万円（前年同四半期比72.6%増）、営業利益は76百万円（前年同四半期比181.3%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業については、売電事業から構成されております。売電事業につきましては、ソーラーパネルの設置を保有不動産の有効活用目的に限定することで事業リスクの低減を図っております。

その結果、売上高は35百万円（前年同四半期比110.9%増）、営業利益は10百万円（前年同四半期比195.4%増）となりました。

また、ソーラーパネルを1施設増設しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて278百万円(4.4%)増加し、6,649百万円となりました。これは、現金及び預金が393百万円増加し、電子記録債権が48百万円、商品及び製品が87百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて143百万円(1.5%)減少し、9,143百万円となりました。これは、投資その他の資産のその他が40百万円増加し、建物及び構築物(純額)が66百万円、有形固定資産のその他(純額)が115百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて61百万円(2.4%)減少し、2,545百万円となりました。これは、流動負債のその他が95百万円増加し、支払手形及び買掛金が110百万円、短期借入金が55百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて170百万円(8.1%)増加し、2,263百万円となりました。これは、長期借入金が181百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて26百万円(0.2%)増加し、10,984百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が174百万円、配当の実施が137百万円等により利益剰余金が36百万円、その他有価証券評価差額金24百万円増加し、為替換算調整勘定が44百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績および足許の業績動向を踏まえ、2020年7月31日に公表いたしました2021年3月期通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2021年1月29日公表の「業績予想の修正(上方)に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,725,301	2,119,229
受取手形及び売掛金	2,269,444	2,228,926
電子記録債権	511,916	463,845
商品及び製品	777,547	689,549
仕掛品	430,850	459,965
原材料及び貯蔵品	511,096	522,938
その他	147,974	168,377
貸倒引当金	△3,091	△3,292
流動資産合計	6,371,039	6,649,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,680,608	1,614,033
土地	5,436,805	5,436,805
その他(純額)	1,311,379	1,195,710
有形固定資産合計	8,428,793	8,246,549
無形固定資産		
のれん	47,265	39,016
その他	30,275	36,968
無形固定資産合計	77,541	75,984
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,181	2,181
その他	809,281	849,293
貸倒引当金	△31,147	△30,519
投資その他の資産合計	780,315	820,955
固定資産合計	9,286,650	9,143,489
資産合計	15,657,689	15,793,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,182,047	1,071,752
短期借入金	778,035	722,148
未払法人税等	27,298	68,644
賞与引当金	75,906	43,320
その他	543,359	639,185
流動負債合計	2,606,647	2,545,052
固定負債		
長期借入金	146,392	327,836
退職給付に係る負債	504,348	524,110
役員退職慰労引当金	34,710	35,540
資産除去債務	89,324	89,636
その他	1,318,544	1,286,261
固定負債合計	2,093,319	2,263,384
負債合計	4,699,966	4,808,437

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	6,433,020	6,433,020
利益剰余金	2,814,793	2,851,037
自己株式	△231,728	△231,729
株主資本合計	9,106,085	9,142,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,211	33,589
土地再評価差額金	1,429,321	1,429,321
為替換算調整勘定	32,942	△11,626
その他の包括利益累計額合計	1,471,476	1,451,285
非支配株主持分	380,160	390,976
純資産合計	10,957,722	10,984,590
負債純資産合計	15,657,689	15,793,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	7,048,011	6,675,305
売上原価	5,556,591	5,320,832
売上総利益	1,491,420	1,354,473
販売費及び一般管理費	1,202,686	1,065,726
営業利益	288,733	288,747
営業外収益		
受取利息	4,001	3,464
受取配当金	1,302	1,684
助成金収入	—	27,072
その他	21,267	10,237
営業外収益合計	26,570	42,458
営業外費用		
支払利息	6,625	6,150
為替差損	—	5,900
その他	4,392	3,725
営業外費用合計	11,018	15,776
経常利益	304,286	315,428
特別利益		
固定資産売却益	545	728
保険差益	11,852	—
負ののれん発生益	91,735	—
特別利益合計	104,134	728
特別損失		
固定資産売却損	137	7
固定資産除却損	704	183
工場移転費用	14,819	1,677
特別損失合計	15,660	1,868
税金等調整前四半期純利益	392,760	314,289
法人税、住民税及び事業税	85,158	124,785
法人税等合計	85,158	124,785
四半期純利益	307,601	189,504
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,290	15,459
親会社株主に帰属する四半期純利益	294,311	174,044

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	307,601	189,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,837	29,838
為替換算調整勘定	19,950	△54,065
その他の包括利益合計	23,788	△24,226
四半期包括利益	331,390	165,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,813	153,852
非支配株主に係る四半期包括利益	17,576	11,424

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目を考慮し、法定実効税率を使用して計算しております。